

支部情報

防府支部

「教育のまち 日本一」を

めざして

防府市は、めざますまちの姿として、「教育のまち 日本一」を掲げている。

そして、防府市学校教育の基本姿勢である「『生きる力』を育む」「豊かな人間性」と「確かな学力」「健康・体力」を育む学校教育のもと、小学校十六校、中学校十一校が各学校で、また校種間で連携して、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進している。

小学校長会は、月一回程度の定例会をもっており、会場は今年度から各校の持ち回りとしている。

研修については、定例会において、県内で唯一取り組んでいる土曜授業の効果的な在り方、小中

一貫教育、

授業交換による教科担

任制、ユニ

ット型の人

材育成、コミュニティ、



地域連携等、現在の学校経営上の課題となる内容について、各校の事例をもとに、協議を深め、自校の学校経営の改善につなげている。

また、「豊かな心と確かな学力を育てる学校運営」の研修テーマのもと、各学校の実情に合わせたサブテーマを設定し、実践的研究を各校長が進めた。研究成果は実践資料集として集約し、校長会全体で共有している。

さらに、夏季休業中に外部講師を招聘しての研修講座を実施している。昨年度は、山口県立大学のシヤルコフ・ロバート教授を講師として、「アクティブラーニングの展開と可能性」について研修した。講座では、グローバルな人材を育成する視点から、問題解決能力、振り返ることができる力、オープンマインドを身に付けさせるために、具体的な活動や体験、実践を通じた学びが必要であること

を参加体験型のスタイルで学んだ。また、チームを重視し、チームで能力を発揮することの重要性を再確認し、

識見を広げると共に、学校経営の重要な視点を共有することができた。

学校によって、実情や地域性は様々であるが、今後も、校長会を通して実践を基に校長の役割を確認し合い、「教育のまち 日本一」の学校づくりをめざしていきたい。

(大道小学校 岡 良治)

支部情報

支部情報

下関支部

大所帯をまとめるチーム力

下関市校長会は、中核市下関市が掲げる「夢への挑戦、生き抜く力、胸に誇りと志」の基本理念のもと、確かな学力の定着、心の教育の充実、

校種間・家庭・地域との連携、コミュニティ・スクールの推進を四つの重点課題として、下関市小学校教育の充実・発展に向け、一丸となって取り組んでいる。

下関市小学校長会は、旧市・旧四町五十一校の校長で構成される。大きな組織であるため、市の教育方針や様々な動向についての具体を共通理解することも大切な活動内容となっている。

また、全体を六つのグループに分け、様々な規模の学校長八、九名がそれぞれのグループに所属することで、学校間交流を図りながらの研修を行っている。今年度は「心の教育」「日常的な危機管理の実際から」「人材育成」の

三つのテーマに基づき、一人が一回事例発表を行って研修を深めている。さらに、市内を九つの地区に分け、各地区での独自の研修を進めている。

(栗野小学校 辻本紳一朗)



中でも豊北地区では、豊北中校区の校長を中心とした小中連携、小中連携が日常的になされている。昨年度、学校運営協議会を合同開催し、学校・地域・保護者が一緒に、豊北地区のめざます児童・生徒像について話し合い、「ゆめをもち、ひと・まちを愛する豊北っ子」というスローガンを掲げた。今年度はそれに向けたアプローチとして重点目標「あったか言葉で伝えよう、優しい気持ちと思いやり」を中心にした独自のコミュニティプランをもとに、学校・家庭・地域それぞれの取組について具体的に推進している。

こうして、各地区校長会におけるチーム力を高めつつ、各地区校長会が連携し、市全体の活動充実に努めている。下関市校長会では、「大きな組織だからこそ必要な活動」が、「大きな組織だからこそできる高め合い」になっている。今年度も、こうした活動を通して、各グループや地域のチーム力向上によって、

市全体の校長会が高まる気運を醸成していきたい。